

平成29年度 試験研究・知識普及概要

《研究課題名・知識普及名》

新規熱電発電モジュールの高密度実装技術に関する研究

《申請者》

フリガナ：モッタイナイ・エナジー ニシアテ ヒロタカ
所属機関・団体：株式会社モッタイナイ・エナジー
職位・氏名：代表取締役 西当 弘隆

《研究・知識普及の概要》

熱電発電は発見から約200年の歴史があり古くからある原理ですが、性能面やコスト面での検討課題が多いです。一方で、昨今の省エネルギー技術の必要性向上や、エネルギーハーベスティング（環境発電）の市場創生などの要請もあり、熱電発電は今もなお研究対象として、注目を浴びています。

その中でも、熱電発電モジュールは鍵となるデバイスであります。現状の業界全体の研究段階としては、熱電材料の研究が進んでいるもの、モジュール化の試みをしたいという需要が高まっています。特に、高性能なモジュールとするためには、熱電発電材料の高密度実装が重要で、その為に個別の熱電発電材料に適した方法や間接部材の組合せを特定する必要があるため、このような研究検討を進めておく事は、業界の市場拡大へ貢献できるものであります。